

新たな同窓会、10年後に向けて！

●浦高同窓会総会・講演会・懇親会！

昨 22 日は、さいたま新都心のラフレさいたまにて、午後 1 時 30 分から「平成 28 年度浦高同窓会総会」、午後 2 時 50 分から「講演会」、午後 4 時 15 分から「懇親会」、そして午後 6 時からは私たちの浦高 25 期会 (昭和 48 年 3 月卒業) の「同期会」でした。

毎年、250 名前後の総会・講演会・懇親会なのですが、昨日は講演会で 26 回卒業 (昭和 49 年 3 月卒業) の順天堂大学教授の天野 篤氏とフリーキャスターの堀尾正明氏を招いたこともあり、300 名を超える参加者があり、盛大かつ和やかに会が進みました。まずは、総会等の記録を綴りましょう。

* *

◆平成 28 年度 浦和高校同窓会総会

最初に同窓会会長の川野幸夫様(13 回卒)のご挨拶。

「母校浦高は昨年 10 月に創立 120 周年を迎えました。同窓会においても母校を支援するためいくつかの事業に取り組みさせていただきました。その一つが『公益財団法人県立浦和高等学校同窓会奨学財団』で



ございます。120 周年をにらんで平成 25 年度から事業を開始し、昨年までの 3 年間で、海外研修 61 名、留学 10 名、就学援助等 5 名、合計 76 名に 1,895 万円を支給いたしました。これもひとえに会員の皆様の寄付によるところであり、改めて感謝申し上げます。昨年 10 月の記念式典の中でも、生徒代表としてミシガン大学サマーセミナーに参加した生徒の挨拶の中で、さまざまな体験から改めて英語の大切さに気づき、将来はグローバルに活躍したいとの決意と同窓会への感謝を述べてくれましたが、同窓会として奨学財団を立ち上げて本当によかった、支援の遣り甲斐があると心から思いました。また、麗和会館の 30 年ぶりのリニューアル、昨年の総会で改正いたしました会則に基づいた役員選任など開かれた同窓会に向けての第一歩を踏み出すことができたと思います。これからも、学校と同窓会が一体となってグローバルに活躍してくれるリーダーたるべき人材の育成に向けて、母校浦高の発展に寄与してまいりたいと考えております。」

この奨学財団も、3 月 8 日時点で当初目標の 7,000 万円に対して 5,079 万円の寄付をいただいています。その中でも、川野会長個人からヤオコー株 24 万株 (27 年度年間配当 45 円/株、1,080 万円) と 900 万円を超える多額の寄付をいただいております。川野会長の強い願いとご尽力が結実した奨学財団です。

続いて同窓会顧問の杉山剛士校長のご挨拶。

「同窓会の皆様には日ごろからご支援ご協力いただきありがとうございます。私も校長 4 年目に入りました。最近の浦高の様子をご紹介させていただきますと、部活動では水泳部、バスケット部、囲碁将棋部、英語部、グリー部、クイズ研究会などと全国で活躍してくれました。進学では頑張ってくれたのですが、東大に関しては 22 名、内現役生徒が 4 名と少なく、多くの皆様からご意見、ご叱責をいただきましたが、生徒も教職員も非常に悔しい思いをしております。入学式でも生徒たちに申しましたが、『今こそ浦高の底力を見せよう』と訴えたところでもあります。その一つが、さまざまな場面で見る仲間同士で支え合い、励まし合う『集団力』の強みです。その象徴が古河強歩大会で、昨年は 87% の生徒がゴールしました。また、一昨年のラグビー県決勝で怪我をした生徒も、皆様方のご支援と周りの励ましもあり、現在はリハビリを続けながら大学生活を送っています。もう一つがここ一番の『集中力』です。こうした点をさらに高めてまいりたいと存じますので、これからも同窓会の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。」



* *

議事は以下の 3 件で、全て可決されました。

◇第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び決算(案)

昨年は母校創立 120 周年記念事業として、銀杏樹保護の木道整備、麗和会館トイレ改修、展示資料室リニューアルオープン、記念式典参加、浦高百年の森 10 周年記念式典。各種委員会、各地域職域同窓会への会長等参加など。年間収入 3,767 万円、支出 3,390 万円、繰越金計 5,785 万円(特定資産含む)

◇第 2 号議案平成 28 年度事業計画(案)及び予算(案)

例年事業、展示資料の整理・人材データベースの整備など。収入 1,295 万円、支出 1,393 万円。

◇第 3 号議案 平成 28・29 年度同窓会役員(案)

新会長・木村恵司氏(三菱地所会長、17 回卒)、新副会長・田中暄二氏(久喜市長、16 回卒)、新副会長・金子真吾氏(凸版印刷社長、21 回卒)、他に副会長 3 名が再任され、名誉会員 1 名、顧問 7 名、常任理事 25 名、監事 2 名、理事 42 名による役員が選任。

* *

私も常任理事の末席ながら、木村新会長が目指される新しい同窓会づくりを支えてまいります。

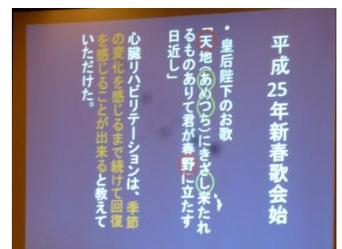
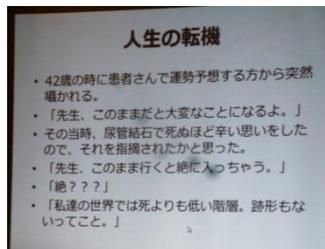
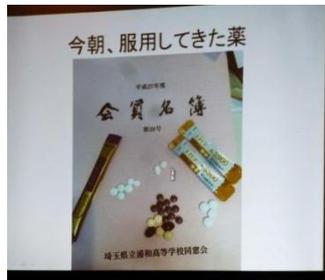
続いて、昨年 10 月 3 日に行われた「浦高創立 120 周年記念式典ダイジェスト版」のビデオが上映されました。



そして総会の最後に、4期8年の長きにわたり同窓会長を務められた川野幸夫様からの退任ご挨拶と、木村恵司新会長の就任のご挨拶がありました。
川野様「8年前に川本前会長から3期6年務めて欲しいと言われてお引き受けいたしました。終わってみると4期8年、浦高が好きで浦高のために役に立ちたいという方々がたくさんいる同窓会をまとめていくことは大変なことで正直ホッとしています。浦高のプレゼンスが高まる中で、それに相応しい同窓会を作りたいと思っておりましたが、前島校長、関根校長、杉山校長と素晴らしい先生方と一緒に母校と一体的な活動ができたことを感謝しております。その中でも、若い人たちがグローバル社会のリーダーとして活躍していただくための奨学財団設立は、同窓会として相応しい事業であったろうと思います。また、多士済々の方々がそれぞれ力を存分に発揮していただける開かれた同窓会づくりも木村新会長の下でスタートするきっかけを作れたことも嬉しく思います。最後に一つだけお願いがございます。若い人たちの支援には皆様方の寄付が必要となりますので、これからも長いお付き合いをお願い申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」

木村様「副会長を2年経験させていただき、これだけ個性豊や方々をまとめていくというのは大変なことだと思いますが、川野会長が同窓会のあり方を変えていただき、開かれた同窓会に向けてのベースが調ったと思います。まだ具体的ではございませんが、同窓会を盛り上げるために何か一つ新しいことを実現したいと思っていますので、5人の副会長や役員の皆様と一緒に『集団力』で力を合わせてまいりたいと存じますので、よろしくご支援ご協力をお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。」

総会を終え、ここからは前年度に60歳を迎えた卒業生の皆さんが幹事として進行する「講演会」と「懇親会」です。「講演会」のタイトルは「この道を熱く生きる」で、順天堂大学教授の天野 篤様、フリーキャスターの堀尾様でした。〔詳細は次号で報告〕



「懇親会」のスタートは、全国大会出場の浦高グリークラブによる合唱で「校歌」「ライド・ザ・チャリオット」「さいたろう節」「最上川舟歌」「マジンガーZ」で開幕し、午後5時30分全てが終了しました。

